

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	文学部
大項目	4 教育研究組織
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KG1)研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 2003年度の文学部改組後について総点検し、それに基づいて組織運営システムと教育研究組織を見直す。	→組織運営システム、教育研究システムの検討委員会を設置。点検報告書の作成、改善策の策定。委員会記録	B
2. 総合心理科学科における一学科一専修体制を点検し、それに基づいて教育研究体制を見直す。	→改善案の策定。点検報告書の作成	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

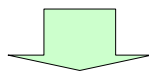
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目4.0.1	(現状説明) 教育研究組織は、学問原理や研究方法、対象、分野の近接性によって組織化されている。近年の学際的な研究の必要性、並びに学部組織との整合性から、2003年度に改組し、3学科11専修に再編されている。
☆ 小項目4.0.2	(現状説明) 2003年度に改組され、その後、組織としての教育研究組織の点検は行っていない。特に、教育及び組織運営上の点検が必要な時期に来ており今期の目標に掲げた。しかし具体的にどのように点検するかはまだ検討中である。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目4.0.1	
☆ 小項目4.0.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項	
小項目4.0.1	
★小項目4.0.2	教育研究組織の点検
その他	

↓

【次年度に向けた方策(2)】改善方策	
小項目4.0.1	
★小項目4.0.2	具体的な点検の仕方について決定し、点検作業に入るようにする。
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○学部改組後、時間も経過しているので、点検作業計画の立案が求められます。

【学内委員】

○学部の改組などが行われた後には、想定していなかったことが生起するものです。したがって、2009年度に総点検と改善が目標とされたことは適切です。その枠組の中で総合心理科学科問題も解決されることを期待します。
○2003年に行われた現状に合わせた学部編成は評価できます。当然検証することが望まれます。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★なし

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

<個別的な指標>
